



かながわ地域日本語教育フォーラム

神奈川県の取組紹介

神奈川県国際文化観光局国際課

外国籍県民支援グループリーダー 小宮山 忠和

令和3年9月12日

かながわの地域日本語教育の施策の方向性

多文化共生の地域社会づくりの一環として、県内各地域において、外国籍県民等が生活に必要な日本語能力を身に付け、地域社会の一員として安心して生活し、活躍できる環境の整備に努める。

地域日本語教育の体制づくりの推進に向けた方向性

- ① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備
- ② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり
- ③ 地域日本語教育に関する情報提供の充実と外国籍県民等の日本語学習へのアクセス促進
- ④ 多文化理解の推進

令和2年度までの取組

令和元年度	<ul style="list-style-type: none">・日本語教育の実態調査・有識者会議の設置・「かながわの地域日本語教育の施策の方向性」取りまとめ
令和2年度	<ul style="list-style-type: none">・総括コーディネーター(1名)、地域日本語教育コーディネーター(3名)の配置・総合調整会議(専門家からの意見聴取等)の開催・かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育)の設置・かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育)報告書取りまとめ・神奈川県市町村等連絡調整会議の開催・日本語学習支援実践者(リーダー的人材)研修の実施・日本語初心者の外国籍県民等向け日本語講座(はじめてのにほんご)の実施・日本語学習支援フォーラムの実施・日本語学習支援・情報提供

令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置

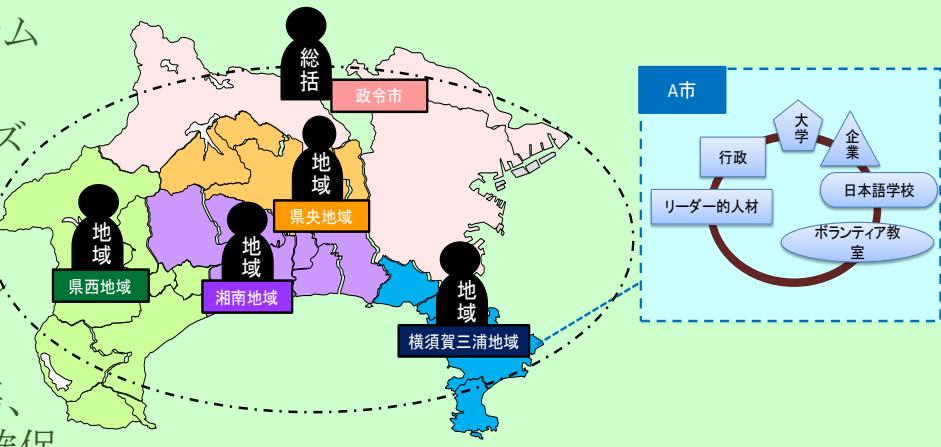
各市町村や地域の実情に応じたコーディネートや支援を実施するため、
コーディネーターを配置((公財)かながわ国際交流財団)

◆ 総括コーディネーター 1名

- ・ 県全域の地域日本語教育の状況把握・進行管理
- ・ 県の地域日本語教育に関わる事業全体の統括

◆ 地域日本語教育コーディネーター 4名

- ・ 地域のニーズや実情に応じたプログラムの企画・調整等
- ・ 市町村等からの県施策に対するニーズの把握
- ・ 関係機関等のネットワークづくり
- ・ ボランティアによる日本語教室とボランティア希望者とのマッチング
- ・ 市町村に対する神奈川県内大学生等、地域日本語教育に関わる新たな人材確保への支援



令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

市町村等連絡調整会議

- ・ 県内の市町村・市町村国際交流協会等が地域の日本語教育について情報共有や意見交換を行う。
- ・ 会議の中で、日本語教育に関するニーズ把握や講座、支援等をテーマとした研修も併せて企画。

総合調整会議等

- ・ 県内の地域日本語教育を推進していくため、専門家等から今後の施策に係る助言の聴取等を行う。

令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査(市町村支援)

日本語教育事業の必要性や地域の実情に応じた事業の検討に向け、外国籍県民等の日本語学習ニーズや生活上必要としている情報、外国籍県民等を支援する人が必要とする支援内容等について調査を行う。

新

日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査

(関係機関約10団体、合計20名以上のヒアリング等の調査)

伊勢原市、海老名市、愛川町

令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

市町村への財政的支援

国庫を活用した市町村補助金の創設

令和元年度の実態調査で把握した県に対する要望を踏まえ、新規補助金を創設し、市町村が展開する「地域の実情に応じた地域日本語教育の実施」、「ボランティアによる日本語教室への支援」等に対し、経費の一部を補助することで、県内の地域日本語教育の総合的な体制を整備する。

新	名称	神奈川県地域日本語教育の総合的な体制づくり市町村推進事業費補助金
対象	全市町村 ※ 政令指定都市が、文化庁長官に直接交付申請する場合は、本補助金の対象外とする	
補助率	国 1/2 市町村 1/2	
国庫	文化庁 「文化芸術振興費補助金(地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業)」	
R3申請件数	7自治体	

令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 1

日本語初心者向けの日本語講座の実施(県モデル事業)

日本語初心者の外国籍県民等を対象に、体系的な初期段階の日本語指導、生活オリエンテーション等を組み込んだ専門家による集中型の日本語講座「はじめてのにほんご」を将来的に市町村でも実施可能となるようモデル事業として実施し、生活に必要な日本語の習得を目指す。

横浜講座 (かながわ県民センター)	レベル1 レベル2	各20回
新 県央講座 (海老名市、座間市、綾瀬市 共催)	レベル1 レベル2	各20回
新 オンライン講座	レベル2	各20回

※レベル1:はじめて日本語を勉強する人
レベル2:ひらがな、カタカナを読むことができる人



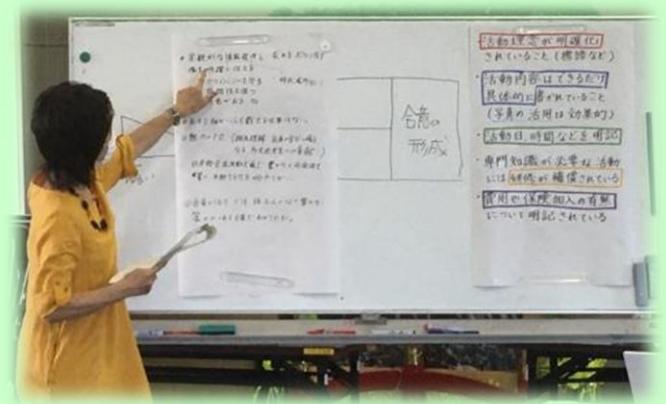
令和3年度の取組

① 市町村や関係機関等と連携した地域日本語教育体制の整備

専門家による日本語講座開催の促進 2

ボランティアによる日本語教室等の運営改善等に係る支援(市町村支援)

地域のボランティアによる日本語教室がこれまでの課題や問題点等を解決し、継続的かつ発展的な運営が可能となるよう、専門家の助言や指導による支援を実施する。



新

平塚市

「日本語学習支援者ボランティアのルール等の整備について」
専門家による講義等

全5回

令和3年度の取組

② 地域の日本語教育活動を支える人材育成とネットワークづくり

日本語ボランティアの養成・研修(市町村支援)

市町村が自立して講座の継続実施ができるよう、市町村・市町村国際交流協会が実施する日本語ボランティア養成及び実践者研修等に対し、プログラム提供・講師派遣等の支援を行う。

新

日本語ボランティアの養成・研修

平塚市、藤沢市、小田原市、伊勢原市、綾瀬市

日本語学習支援に関する研修の実施

地域における日本語教室の実践者(リーダー的人材)を対象に、外国籍県民等の学習ニーズの把握や地域に関わる多様な主体との連携を考慮した日本語教室を実践できるよう研修を実施し、教室内・地域間のネットワークづくりの支援を行う。

一部

新

日本語学習支援実践者研修

県央地域、湘南地域

各地域2回(全4回)

令和3年度の取組

③地域日本語教育に関する情報提供の充実と外国籍県民等の日本語学習へのアクセス促進

日本語学習支援に係る相談対応・情報提供

- ・ 日本語を学習したい外国籍県民等に対し、ボランティアによる日本語教室や日本語学校等の学習できる場、ICT教材を含む学習方法のリソース等、各種情報をインターネット、電話等により、相談対応及び情報提供を行う。
- ・ これから日本語の学習支援を行いたいボランティア等に対し、活動に必要な情報をまとめ、併せてインターネット等により相談対応及び情報提供を行う。
- ・ 必要に応じて、訪問による相談対応・情報提供を行う。

ポータルサイト 「かながわにほんご」運営

かながわ にほんご

Study Japanese in Kanagawa



日本語を学ぶ
(やさしいにほんご)

Where どこで?

How どうやって?

? こまつたときは?

PICK UP

募集中 日本語クラス「はじめての にほんご」のお知らせ
はじめて日本語を勉強する人、日本語があまりわからない人のための教室です。
すぐに使える日本語と、基本的な文法を両方勉強することができます。
<https://www.kifjp.org/nihongo/where/hajimete>



日本語学習を支える

● かながわの地域日本語教育

● 日本語学習相談

- ・日本語学習に関する情報提供
- ・日本語教室マップの提供

令和3年度の取組

④ 多文化理解の推進

地域日本語教育に関するフォーラムの実施

日本語教育に関する基本的な理解や関心を深めることを目的としたフォーラムを実施する。

一部
新

地域日本語教育フォーラム

2回開催

【参考】

日本語教育事業以外で(公財)かながわ国際交流財団が実施している多文化理解の推進に関する事業例

- ・多文化共生セミナー
- ・多文化対応力向上講座(やさしい日本語講座)
- ・外国人住民子育て支援
- ・外国につながる子供等教育推進
- ・高等学校等多文化理解推進 等

かながわ地域日本語教育フォーラム ～地域日本語教育に多様な担い手が関わるために～

オンライン開催
参加無料



神奈川県は、多文化共生の地域社会づくりの一環として、地域日本語教育の総合的な体制づくりを進めています。
かながわの今後の地域日本語教育を皆様と一緒に考える機会となるようフォーラムを開催します。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 令和3年9月12日(日) 14:00~15:40
[Zoom]によるオンライン開催 視聴用ウェブページ入場可能時刻(13:30)

定員等 定員170名(無料)

※要事前申込 申込者への視聴用ウェブページURLのご連絡:9月10日(金)



内 容

- ◆ 神奈川県の取組紹介(神奈川県)
- ◆ 基調講演 「地域日本語教育に多様な担い手が関わるために」
講師 明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳
- ◆ 事例発表 「さぼうと21学習支援室の取組」
講師 社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター 矢崎 理恵
- ◆ パネルディスカッション
青少年から大人まで幅広い世代や、多様な分野の人材が関わりやすい日本語教室づくりについて、お話を伺います。
パネリスト 長谷部 美佳(明治学院大学 教養教育センター 准教授)
矢崎 理恵(社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター)
藤浪 浩(関東学院大学社会学部・専任講師、NPO法人ABCジャパン・アドバイザー)
- 進 行 山内 涼子(公財)かながわ国際交流財団/地域日本語教育統括コーディネーター)

ご清聴ありがとうございました